

栄養教諭

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ~大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ~大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 食に関する法規等について、次の問いに答えよ。

(1) 学校給食法（平成28年4月1日施行）について次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文は、この法律に示されている内容である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A この法律で「学校給食」とは、同法律に掲げる学校給食の目標を達成するために、義務教育諸学校において、その児童又は生徒に対し実施される給食をいう。
- B 栄養教諭は、学校給食衛生管理基準に照らし、衛生管理上適正を欠く事項があると認めた場合には、遅滞なく、その改善のために必要な措置を講じ、又は当該措置を講じることができないときは、当該義務教育諸学校若しくは共同調理場の設置者に対し、その旨を申し出るものとする。
- C 学校給食を実施する義務教育諸学校の設置者は、学校給食実施基準に照らして適切な学校給食の実施に努めるものとする。
- D この法律は学校給食の普及充実に及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。
- E 栄養教諭は、児童又は生徒が健全な食生活を自ら営むことができる知識及び態度を養うため、学校給食において摂取する食品と健康の保持増進との関連性についての指導、食に関して特別の配慮を必要とする児童又は生徒に対する個別的な指導その他の学校給食を活用した食に関する実践的な指導を行うものとする。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	○
2	○	○	×	×	×
3	○	×	×	×	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	×	○	○

② 次の各文は、この法律の第二条（学校給食の目標）の記述の一部である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を
培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- B 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- C 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊
重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- D 我が国や諸外国の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- E 食料の生産、供給及び消費について、正しい理解に導くこと。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	×
2	×	×	○	○	○
3	○	×	○	×	○
4	○	○	○	×	×
5	○	×	×	×	○

(2) 食育基本法（平成28年4月1日施行）について次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、この法律に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 食育は、食品の安全性をはじめとする食に関する幅広い情報の提供及びこれについての意見交換が、食に関する知識と理解を深め、国民の適切な食生活の実践に資することを旨として、国際的な連携を図りつつ積極的に行わなければならない。
- 2 食育は、農山漁村の活性化と我が国の食料自給率の向上に資するよう、推進されなければならない。
- 3 食育推進会議の会長は、厚生労働大臣をもって充てる。
- 4 農林漁業者及び農林漁業に関する団体は、農林漁業に関する多様な体験の機会を積極的に提供し、自然の恩恵と食に関わる人々の活動の重要性について、国民の理解が深まるよう努めるとともに、教育関係者等と相互に連携して食育の推進に関する活動を行うよう努めるものとする。
- 5 食育は、父母その他の保護者にあつては、家庭が食育において重要な役割を有していることを認識するとともに、子どもの教育、保育等を行う者にあつては、教育、保育等における食育の重要性を十分自覚し、積極的に子どもの食育の推進に関する活動に取り組むこととなるよう、行われなければならない。

② 次の文は、この法律の第一条の記述の一部である。空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第一条 この法律は、(中略)食育に関する施策の基本となる事項を定めることにより、食育に関する施策を に推進し、もって現在及び将来にわたる 国民の生活と 社会の実現に寄与することを目的とする。

	A	B	C
1	組織的かつ効果的	健康で文化的な	持続可能で暮らしやすい
2	組織的かつ効果的	健康維持のための	豊かで活力ある
3	組織的かつ効果的	健康で文化的な	豊かで活力ある
4	総合的かつ計画的	健康で文化的な	豊かで活力ある
5	総合的かつ計画的	健康維持のための	持続可能で暮らしやすい

(3) 食育基本法(平成28年4月1日施行)第十七条に基づく都道府県計画として、平成30年度から令和5年度までの6年間を計画期間として策定された「第3次大阪府食育推進計画」の合言葉はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 食べるが「価値(かち)」
- 2 野菜バリバリ朝食モリモリ!みんなで育む元気な食
- 3 「食」の探究と社会への広がり～食を通して自分たちや社会を見つめよう～
- 4 早寝早起き朝ごはん
- 5 「食べる力」=「生きる力」を育む 食育 実践の環(わ)を広げよう

(4) 次の表は文部科学省による「令和4年度学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査」における大阪府の地場産物及び国産食材の使用割合（金額ベース）と全国平均である。空欄A、Bに当てはまる数値の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

	地場産物	国産食材
大阪府	<input type="text" value="A"/> %	<input type="text" value="B"/> %
全国平均	56.5%	89.2%

- | | A | B |
|---|------|------|
| 1 | 55.2 | 86.0 |
| 2 | 31.2 | 75.5 |
| 3 | 31.8 | 84.1 |
| 4 | 7.7 | 87.5 |
| 5 | 6.9 | 88.1 |

(5) 次の各文のうち、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月26日 中央教育審議会）に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 日本の教育が成功を収めている要素として、子供たちに対し、学校給食や課外活動などの広範囲にわたる全人的な教育を提供している点が指摘されている。
- 今後、ますます多様化する社会の変化の中で、子供たちの置かれている生活環境も様々であり、食育においても今まで以上に個別に寄り添った支援が求められる。
- 児童生徒等の心身の状況等を踏まえて、エビデンスに基づく個に応じた指導・支援を充実させることにより、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力（健康リテラシー等）を育成することが重要である。
- 健康教育の基盤となる食育の推進を担う学校栄養職員や栄養教諭等の専門性に基づく指導の充実を図るとともに、栄養教諭の学校栄養職員への速やかな移行を図るなど、学校栄養職員の配置促進を進めることが重要である。
- 食に関する資質・能力を定着させるには、教科等横断的な視点での学びが求められるとともに、児童生徒が他者と協働して主体的に学習活動に取り組むことが重要である。

(6) 次の各文のうち、農林水産省における「令和3年度食育推進施策」の「第2部 食育推進施策の具体的取組」に示されている内容として、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 文部科学省「全国学力・学習状況調査」によると、小・中学生の朝食欠食率は、近年減少傾向となっている。
- 2 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせて、児童生徒が各栄養素をバランスよく摂取しつつ様々な食に触れることができるように配慮することが大切である。
- 3 厚生労働省「令和元（2019）年度国民医療費」、「令和2年（2020）人口動態統計」によると、国民医療費（医科診療医療費）の約3割、死亡者数の約3割が生活習慣病によるものである。
- 4 「日本型食生活」の実践において、ごはんと組み合わせる主菜、副菜等に惣菜、冷凍食品、レトルト食品、合わせ調味料等を活用することは望ましくない。
- 5 第4次食育推進基本計画では、第3次食育推進基本計画から継続して栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の取組を増やすことを目標としている。

2 食に関する指導について、次の問いに答えよ。

(1) 小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）及び中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文は、小学校学習指導要領の記述の一部である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 食に関する指導については、家庭科の特質に応じて、食育の充実に資するよう配慮すること。また、第4学年までの食に関する学習との関連を図ること。
- B 調理に用いる食品については、生の魚や肉は扱わないなど、安全・衛生に留意すること。また、食物アレルギーについても配慮すること。
- C 保健の内容のうち運動、食事、休養及び睡眠については、食育の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結び付くよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導においても関連した指導を行うようにすること。
- D 特別活動では、給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

	A	B	C	D
1	○	×	×	○
2	×	○	○	×
3	○	○	○	○
4	×	○	×	×
5	○	×	○	×

② 次の各文は、中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）「第2章 各教科 第8節 技術・家庭 第2 各分野の目標及び内容〔家庭分野〕 2 内容 B 衣食住の生活」に示されている内容として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解すること。
- B 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1食分の献立作成の方法について理解すること。
- C 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。
- D 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。
- E 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	○
2	×	×	○	○	×
3	○	×	×	×	○
4	×	○	○	×	×
5	○	○	×	○	○

(2) 次の各文のうち、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年7月 文部科学省）第3章 教育課程の編成及び実施 第1節 中学校教育の基本と教育課程の役割 2 生きる力を育む各学校の特色ある教育活動の展開 (3) 健やかな体」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 食に関する指導に当たっては、学校教育活動全体として効果的に取り組むことが重要である。
- 2 食に関わる課題に適切に対応するため、栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性などの指導が一層重視されなければならない。
- 3 生徒の心身の調和的発達を図るためには、食育の推進を通して望ましい食習慣を身に付けるなど、健康的な生活習慣を形成することが必要である。
- 4 生徒が積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質・能力を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮することが大切である。
- 5 自然の恩恵・勤労などへの感謝や食文化などについては、給食の時間のみで指導を行うことが効果的である。

(3) 「食に関する指導の手引 第二次改訂版」(平成31年3月 文部科学省)について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、「第2章 学校・家庭・地域が連携した食育の推進 第2節 家庭や地域との連携の進め方」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 児童生徒及び家庭の食生活の状況や基本的な生活習慣の実態把握に当たっては、保健所が家庭や地域の協力を得て、調査を実施する。
- 2 学校は、食に関する指導の目標や計画、各教科等における食育の視点や指導内容、教育活動の様子、学校給食の意義、役割等について、家庭や地域に積極的に公開する。
- 3 家庭では、食に関する情報に基づいて判断したり、振り返ったりすることにより、家庭の食生活をよりよくしようとする意識を高めることが大切である。
- 4 家庭や地域、関係機関や学校医、地域の保健機関等の専門家と欠かさず連携・協力する。
- 5 学校における食に関する指導を充実するためには、校区や近隣の人材や機関にとどまらず、広く地域と連携していくことが必要である。

② 次の各文のうち、「第6章 個別的な相談指導の進め方」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 個別的な相談指導は、授業や学級活動の中など全体での指導では解決できない健康に関係した個別性の高い課題について改善を促すために実施する。
- 2 個別的な相談指導は、発育・発達期である児童生徒が健康に過ごすために必要であるとともに、将来に向けた望ましい食生活の形成を促すためにも重要である。
- 3 個別的な相談指導の利点は、指導者と児童生徒及び家族に親密な人間関係を構築することにより高い成果が得られることである。
- 4 個別的な相談指導は、同じ問題や課題をもつ児童生徒であっても、必ず個別に指導をしなければならない。
- 5 個別的な相談指導を行うに当たっては、安易な計画での指導は、心身の発育に支障をきたす重大な事態になる可能性があることに留意すること。

(4)「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育 ～チーム学校で取り組む食育推進のP D C A～」(平成29年3月 文部科学省)について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、「I 計画<PLAN>」に示されている内容として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 全校体制で組織的に食育が推進できるよう、校長を責任者として、食育・学校給食に関する各種計画の策定及び進行管理をする委員会を設置する。
- B 国の食育推進基本計画、各自治体の食育推進計画等で示された指標に加え、家庭の実態を踏まえた指標を設定する。
- C 学校給食の管理に関する計画等については、栄養教諭が自身の専門性を生かして計画案を作成する。
- D 児童生徒が食に関する理解を深め、日常の生活で実践していくことができるようになるためには、学校と家庭との連携を密にし、学校で学んだことを家庭の食事で実践するなど家庭において食に関する取組を充実する必要がある。

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

② 次の文は、「IV 改善《ACTION》」の記述の一部である。空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

評価結果を踏まえて、食育推進組織において次年度に向けての改善点を検討します。その際、栄養教諭は、校長（推進組織の委員長）に な評価資料を示し、具体的な改善点を相談した上で、 で共通理解を図ります。また、保護者や地域住民などにも適宜評価結果を公表し、相互理解を深め連携体制を するとともに、次年度の に生かします。

	A	B	C	D
1	総合的	全教職員	改善・強化	啓発活動
2	客観的	関係教職員	整備・充実	啓発活動
3	総合的	関係教職員	改善・強化	啓発活動
4	総合的	全教職員	整備・充実	計画策定
5	客観的	全教職員	改善・強化	計画策定

3 健康と栄養について、次の問いに答えよ。

(1) 「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」(令和2年12月 文部科学省)について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、「第3章 資料 I 食品群別留意点」に記載されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 「ほうれんそう(生)」のビタミンCの分析値は、冬季に高く、夏季に低い傾向がみられた。
- 2 「釜揚げしらす」は、いわしの稚魚であるしらすを煮熟後に放冷した製品のことを言う。
- 3 「ぶり」は、成長するに伴い、関西ではつばす、はまち、めじろ、ぶりの順に呼称の変わるいわゆる出世魚である。
- 4 「えだまめ」は、だいずの未熟種子である。
- 5 「かぶ」は、日本において古くから栽培されていた野菜の一つであり、「すずしろ」の名で七草の一つとしても親しまれてきた。

② 次のうち、鉄の含有量(可食部100g当たり)の多いものから順に並べたものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A こまつな 葉 生
- B (すもも類) プルーン 乾
- C ひじき ほしひじき ステンレス釜 乾
- D <貝類> あさり 生
- E <畜肉類> うし [和牛肉] もも 脂身つき 生

	多い	→						少ない	
1	C	→	D	→	A	→	E	→	B
2	B	→	C	→	E	→	A	→	D
3	D	→	C	→	B	→	A	→	E
4	C	→	B	→	A	→	D	→	E
5	B	→	C	→	D	→	A	→	E

(2) 「日本人の食事摂取基準 (2020年版 厚生労働省)」について、次の①～③の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、「Ⅱ 各論 1-7 ミネラル」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 人体中ヨウ素の70～80%は甲状腺に存在し、甲状腺ホルモンを構成する。妊娠中のヨウ素欠乏は、死産、流産、胎児の先天異常及び胎児甲状腺機能低下 (先天性甲状腺機能低下症) を招く。
- 2 鉄は食事中的ヘム鉄と非ヘム鉄の構成比等によって吸収率が異なり、非ヘム鉄はアスコルビン酸 (ビタミンC) などの還元物質によって2価鉄イオン (Fe^{2+}) となり、divalent metal transporter 1に結合して吸収される。
- 3 日本人のナトリウム摂取量は、食塩摂取量に依存し、その摂取レベルは高く、通常の食生活では不足や欠乏の可能性はほとんどない。むしろ、過剰摂取による生活習慣病の発症及び重症化を予防する必要がある。
- 4 カリウムは、細胞内液の主要な陽イオン (K^+) であり、体液の浸透圧を決定する重要な因子である。日本人は、ナトリウムの摂取量が諸外国に比べて多いため、ナトリウムの摂取量の低下に加えて、ナトリウムの尿中排泄を促すカリウムの摂取が重要と考えられる。
- 5 亜鉛欠乏の症状は吐き気、嘔吐、眠気、脱力感、筋肉の痙攣、ふるえ、食欲不振などである。

② 次の各文のうち、「Ⅱ 各論 1-6 ビタミン」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ビタミンAの過剰摂取による臨床症状では頭痛が特徴である。過剰摂取による健康障害が報告されているのは、サプリメントあるいは大量のレバー摂取などによるものである。
- 2 β -カロテン、 α -カロテン、クリプトキサンチンなどのプロビタミンAカロテノイドからのビタミンAへの変換は厳密に調節されているので、ビタミンA過剰症は生じない。
- 3 ビタミンB₆はATP産生、ビタミンC、ビタミンEを介する抗酸化系、脂肪酸の生合成、ステロイドホルモンの生合成等の反応に関与している。
- 4 胎児の神経管閉鎖障害は、受胎後およそ28日で閉鎖する神経管の形成異常であり、受胎前後に葉酸のサプリメントを投与することによってそのリスクが低減することが明らかにされている。
- 5 ビタミンB₂は、補酵素FMN及びFADとして、エネルギー代謝や物質代謝に関与している。TCA回路、電子伝達系、脂肪酸の β 酸化等のエネルギー代謝に関わっているため、ビタミンB₂が欠乏すると、成長抑制を引き起こす。

③ 次の各文のうち、「Ⅱ 各論 3 生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 高血圧は、その血圧値からⅠ度（140～159/90～99mmHg）、Ⅱ度（160～179/100～109mmHg）、Ⅲ度（180/110mmHg以上）に分類される。
- 2 コレステロールは、全身の細胞で作られるが、血清脂質のコレステロールは肝臓の合成量とリポたんぱく質の取り込み量、腸管での摂取量及び吸収量と直接の排泄量、胆汁酸の排泄量により調整され、LDLコレステロール調節の約7割を肝臓が担っている。
- 3 食物繊維に富んだ野菜を先に食べることで食後血糖の上昇を抑制し、HbA1cを低下させ、体重も減少させることができることが報告されている。
- 4 糖尿病は、インスリン作用の不足に基づく慢性の高血糖状態を主徴とする代謝症候群であり、インスリン作用が不足する機序には、インスリンの供給不全（絶対的又は相対的）とインスリンが作用する臓器（細胞）におけるインスリン感受性が高まることとがある。
- 5 慢性腎臓病の治療の根幹である食事療法は、たんぱく質摂取量の制限が中心で、腎臓を保護することを主目的としている。

(3) 次の各文は、「学校給食摂取基準の策定について（報告）」（学校給食における児童生徒の食事摂取基準策定に関する調査研究協力者会議 令和2年12月）で示された栄養価とその栄養価の学校給食における基準値を表している。基準値として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A ナトリウム（食塩相当量）は、食事摂取基準の目標量の4分の1未満。
- B カルシウムは、食事摂取基準の推奨量の40%。
- C 鉄は、食事摂取基準の推奨量の40%。
- D 亜鉛は、食事摂取基準の推奨量の3分の1。

	A	B	C	D
1	×	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	×	○	○
4	○	○	○	×
5	×	×	×	○

(4) 次の各文のうち、「令和元年国民健康・栄養調査結果の概要」(厚生労働省)に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 BMIの状況別、食習慣改善の意思について、男女ともにBMIが普通及び肥満の者では、「関心はあるが改善するつもりはない」と回答した者の割合が最も高く、やせの者では、「食習慣に問題はないため改善する必要はない」と回答した者の割合が最も高い。
- 2 食生活に影響を与えている情報源は、「テレビ」と回答した者の割合が最も高い。
- 3 1日の平均睡眠時間は6時間以上7時間未満の割合が最も高い。
- 4 健康食品を摂取している者の中で、その食品を摂取している目的について、20歳代男性で「たんぱく質の補充」、20歳代女性で「ビタミンの補充」と回答した者の割合がそれぞれ最も高い。
- 5 運動習慣改善の意思について、「改善することに関心がない」と回答した者の割合が最も高い。

4 食物アレルギーについて、次の問いに答えよ。

(1) 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」(令和2年3月日本学校保健会)について、次の①～④の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、「6 緊急時の対応」に示されている内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 発見者は自ら職員室や保健室等に行き、人を集めた後、直ちにその場に戻る。
- B 我慢できない腹痛、持続する強いせき込み、ぐったりしているといった症状が一つでもあり、緊急性が高いアレルギー症状があると判断した場合はアドレナリン自己注射薬を使用する。
- C ぐったりしていたり、意識がもうろうとしていたりする場合は、上半身を起こし後ろに寄りかからせる。
- D 救急要請を行った際、救急隊から、その後の状態確認などのために、電話がかかってくることもあるので、通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく。

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	×	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×

② 次の各文のうち、「4 『学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）』に基づく取組」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 学校生活管理指導表は症状等に変化がない場合は、配慮や管理が必要な間であっても毎年提出を求める必要はない。
- 2 血液検査の結果を求めることは適当ではない。
- 3 保護者は、主治医・学校医等に学校生活管理指導表を記載してもらい、学校に提出する。
- 4 学校は学校生活管理指導表に基づき、個々の児童生徒等に対して必要な取組を学校の実状に即して行うために「取組プラン」を立案する。
- 5 学校・教育委員会は、アレルギー疾患のある児童生徒等を把握し、学校での取組を希望する保護者に対して、学校生活管理指導表の提出を求める。

③ 次の各文は「1 食物アレルギー・アナフィラキシー」に示されている内容である。空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ・ は即時型食物アレルギーとは異なり、IgE抗体が陰性でも嘔吐などの症状を呈する。
- ・ が令和元年に加工食品のアレルギーの推奨表示の項目に新たに加わった。
- ・ 学校生活管理指導表から得られる情報で児童生徒等の症状誘発リスクやアナフィラキシーのリスクを評価すると発症の可能性が高い順に、アナフィラキシーの既往あり > > > > 未摂取となる。

ア. 口腔アレルギー症候群 イ. 経口免疫療法 ウ. 消化管アレルギー
 エ. アーモンド オ. キウイフルーツ カ. クルミ キ. 明らかな症状の既往
 ク. 食物経口負荷試験陽性 ケ. 検査結果陽性

	A	B	C	D	E
1	ア	エ	キ	ク	ケ
2	ウ	エ	キ	ク	ケ
3	イ	カ	ク	ケ	キ
4	ウ	エ	ク	キ	ケ
5	イ	オ	ケ	キ	ク

④ 次の各文のうち、「D『緊急時に備えた処方薬』欄の読み方」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 内服薬としては、多くの場合、抗ヒスタミン薬等が処方されているが、これは内服してから効果が現れるまでに30分以上かかるため、アナフィラキシーなどの緊急を要する重篤な症状に対して効果を期待することはできない。
- 2 アドレナリン自己注射薬を注射する時は太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードル（針）カバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付け、押し付けたまま数秒間待つ。
- 3 血圧が下がり、意識障害などが見られるいわゆる「ショック」の状態にある患者の救命率は、アドレナリンを30分以内に投与できるか否かで大きく異なる。
- 4 アドレナリン自己注射薬は万一の場合に直ちに医療機関での治療が受けられない状況下にいる者に対し、事前に医師が処方するものであるため、使用后症状が緩和された場合は医療機関の受診は必要ない。
- 5 ステロイド薬には急性期の症状を抑える効果はなく、2相性反応（一度おさまった症状が数時間後に再び出現する）を抑える効果が期待されている。

(2) 「学校給食における食物アレルギー対応指針」（平成27年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、「2 対応申請の確認から対応開始まで」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 対応開始前の個別面談は必要に応じて行う。
- 2 対応の申請時期は1年生（新入学時）、進級時、新規発症・診断及び転入時である。
- 3 栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭は、個別面談で得られた情報をまとめ、面談調書と個別の取組プラン案を作成する。
- 4 調理場における対応の実施は、単独調理場では校長が、共同調理場の受配校では、校長からの依頼を受けた共同調理場長が決定する。
- 5 学級担任は、食物アレルギーを有する児童生徒が対応食を確実に食べたかを確認し、喫食状況を調理場にフィードバックする。

② 次の各文のうち、「Ⅲ 総論」に示されている内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 調味料・だし・添加物等について対応が必要な児童生徒は、当該原因食物に対する重篤なアレルギーがあることを意味するため、安全な給食提供は困難であり、弁当対応を考慮する。
- 2 医師の診断による学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の提出を必須とすることで、対応に必要な児童生徒が限定され、効率的で適切な対応を実現することができる。
- 3 すべての事故及びヒヤリハット事例は、状況や問題となった原因、改善方法について管理職に報告する。
- 4 「詳細な献立表対応」とは、給食の原材料を詳細に記した献立表を事前に配布し、それをもとに保護者や担任などの指示又は児童生徒自身の判断で、給食から原因食品を除いて食べる対応のことをいう。
- 5 学校間では、進学や転学等の場合でも、食物アレルギーを有する児童生徒に関する情報は個人情報保護の観点から共有すべきではない。

(3) 「加工食品の食物アレルギー表示ハンドブック」(令和5年3月作成 消費者庁)に代替表記(特定原材料等と表示方法や言葉は異なるが、特定原材料等と同様のものであることが理解できる表記)についての記述がある。乳の代替表記として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組み合わせはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A ピーナッツバター
- B アイスクリーム
- C カカオバター
- D ココナッツミルク
- E バターオイル

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	×	○
2	×	○	×	×	○
3	×	○	○	×	○
4	○	×	○	×	×
5	×	○	×	○	×

(4) 次の各文のうち、「保険医療機関が交付するアレルギー疾患に係る学校生活管理指導表の保険適用について」(令和4年4月1日 文部科学省事務連絡)に示されている内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 令和4年度診療報酬改定は、アレルギー疾患のうちアナフィラキシー及び食物アレルギー(保険医療機関が交付する学校生活管理指導表のアナフィラキシーありに該当する患者若しくは食物アレルギーあり(除去根拠のうち、食物経口負荷試験陽性又は明らかな症状の既往に該当する患者に限る。))に該当する患者について、学校生活管理指導表の発行に係る保護者の負担軽減につながるものである。
- B 学校生活管理指導表の提出の際、主治医と学校医が同一の場合は診療情報の提供の対象とならない。
- C 令和4年度の診療報酬改定に伴い、医療機関から学校医へ診療情報が提供されるため、学校から学校医へ情報共有する必要がない。
- D 令和4年度の診療報酬改定において保険適用となったアナフィラキシー及び食物アレルギーに係る学校生活管理指導表の発行については、本人・保護者が医療機関から学校生活管理指導表の発行を受け、学校等に提出する従来の方法で差し支えない。

	A	B	C	D
1	×	×	○	○
2	×	○	×	○
3	○	○	×	×
4	×	○	○	○
5	○	×	×	×

5 学校給食の管理について、次の問いに答えよ。

(1) 「学校給食衛生管理基準」(平成21年4月1日施行 文部科学省) について、次の①～③の問いに答えよ。

① 次の表は「学校給食衛生管理基準」の別添に示されている学校給食施設の区分である。表中の(ア)～(エ)に入る語句を答えよ。

区分			内容
学 校 給 食 施 設	調 理 場 域	(ア) 作業区域	(ウ) ー原材料の鮮度等の確認及び根菜類等の 処理を行う場所 食品の保管室ー食品の保管場所 (エ) ー食品の選別、剥皮、洗浄等を行う場所 返却された食器・食缶等の搬入場 ----- 洗浄室(機械、食器具類の洗浄・消毒前)
		(イ) 作業区域	調理室 ー食品の切裁等を行う場所 ー煮る、揚げる、焼く等の加熱調理を行う場所 ー加熱調理した食品の冷却等を行う場所 ー食品を食缶に配食する場所 配膳室 食品・食缶の搬出場 ----- 洗浄室(機械、食器具類の洗浄・消毒後)
		その他	更衣室、休憩室、調理員専用便所、前室等 事務室等(学校給食調理員が通常、出入りしない区域)

② 次の文は、「第2 学校給食施設及び設備の整備及び管理に係る衛生管理基準」、「第3 調理の過程等における衛生管理に係る衛生管理基準」及び「第5 日常及び臨時の衛生検査」の記述の一部である。空欄A～Mに入る語句や数字を答えよ。

- ・ 学校給食従事者専用の手洗い設備は、衛生的に管理するとともに、液、消毒用アルコール及びペーパータオル等衛生器具を常備すること。
- ・ 献立作成は、学校給食施設及び設備並びに人員等の能力に応じたものとするとともに、衛生的な及び作業動線となるよう配慮すること。
- ・ 調理後の食品は、適切な温度管理を行い、調理後時間以内に給食できるよう努めること。
- ・ 調理場における食品及び調理用の器具及び容器は、床面からcm以上の高さの置台の上に置くこと。
- ・ 保存食は、毎日、原材料、加工食品及び調理済食品を食品ごとにg程度ずつビニール袋等清潔な容器に密封して入れ、専用冷凍庫に-20℃以下で週間以上保存すること。
- ・ 生食する野菜類及び果実類等はで十分洗浄されていること。また、必要に応じてされていること。
- ・ 検食に当たっては、食品の中に人体に有害と思われるの混入がないか、調理過程において加熱及び冷却処理が適切に行われているか、食品の異味、その他の異常がないか、一食分としてそれぞれの食品のが適当か、味付け、香り、並びに形態等が適切か、及び、児童生徒のとの関連はどのように配慮されているか確認すること。

③ 「第4 衛生管理体制に係る衛生管理基準 (3) 学校給食従事者の健康管理」に明記されている検便検査項目を3つすべて答えよ。

(2) 「学校給食調理従事者研修マニュアル」(平成24年3月 文部科学省)の「第6章 衛生管理を充実させるための手順」にはドライ使用及びドライ運用の必要性について示されている。ウェット使用と比較した場合のドライ使用及びドライ運用の利点を3つ答えよ。

(3) 次の各文は、「調理場における衛生管理&調理技術マニュアル」(平成23年3月 文部科学省)に示されているノロウイルスの食中毒についての記述の一部である。文中のア～オに入る語句や数字を答えよ。

- ノロウイルスに対しては が有効であり、有機物の少ないところでは ppm濃度を、有機物の多い(嘔吐物等)ところでは、 が有機物に消費されるため ppm以上を用いることで、短時間で殺滅できる。
- 食中毒は突然起こるものではなく、ノロウイルスに感染している調理従事者が を介して食品や調理器具等を汚染することにより、食中毒を起こす。
- ノロウイルス汚染の可能性のある 等の食品は、中心部まで85℃、1分間以上の加熱を行うこと。

令和6年度大阪府・大阪市・堺市公立学校教員採用選考テスト

三次選考択一問題の正答について

校種		教科・科目	栄養教諭
----	--	-------	------

解答 番号	正答 番号	解答 番号	正答 番号	解答 番号	正答 番号
1	1	11	5	21	3
2	4	12	1	22	5
3	3	13	4	23	2
4	4	14	2	24	1
5	2	15	5	25	4
6	5	16	5	26	4
7	4	17	1	27	1
8	2	18	5	28	5
9	3	19	3	29	2
10	1	20	4	30	2

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府・大阪市・堺市公立学校教員採用選考テスト

栄養教諭 解答用紙 (2枚のうち1)

5	得点	
---	----	--

(1)

①	(ア) 汚染	/	(イ) 非汚染	/	□
	(ウ) 検収室	/	(エ) 下処理室	/	
②	A 石けん	/	B 作業工程	/	□
	C 2	/	D 60	/	
	E 50	/	F 2	/	
	G 流水	/	H 消毒	/	
	I 異物	/	J 異臭	/	
	K 量	/	L 色彩	/	
	M 嗜好	/			
③	赤痢菌	/	サルモネラ属菌	/	□
	腸管出血性大腸菌血清型 O157	/			

(2)

栄養分、水分を断つことで微生物の増殖防止となる。	/	□
床からの跳ね水による二次汚染を防止する。	/	
軽装により調理従事者の身体への負担軽減となる。	/	

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府・大阪市・堺市公立学校教員採用選考テスト

栄養教諭 解答用紙 (2枚のうち2)

5 (続き)

(3)

(ア) 次亜塩素酸ナトリウム	/	(イ) 200	/
(ウ) 1000	/	(エ) 手指	/
(オ) 二枚貝	/		

--

--